

方丈庭園

方丈庭園は建長寺を創建した住職の蘭溪大龍（1213 年～1278 年）が建立の際に設計したと考えられています。庭園は 2003 年に建長寺創建 750 年を記念して改修され、国の名勝に指定されています。

庭園のシンプルな配置と落ち着いた雰囲気が禅の美学を表現しています。庭園の中心にある池は蘸碧池と呼ばれ、池の形は漢字の心に似ていると言われています。